

風車

5

仁木町議会選挙を終えて

「仁木町の風力発電を考える会」

宮下 洋子

仁木町民の皆さま、有難うございました。

残念ながら、風力発電に反対する若い候補、穂積豊仁と、甲田貴也は落選しましたが、穂積66票、甲田84票で、二人合わせると150票ありました。一人に絞れば、十分当選できる票数でした。でも、あえてしませんでした。

二人は「仁木町の風車を考える会」から出馬したのではなく、個人で出馬して、選挙の費用も、すべて本人が出しました。

甲田は、選挙事務所もないので、見かねた地元の方が、倉庫を貸して応援してくれました。公費もできるだけ使わず、車は、



仕事用の軽トラを自分で改装し、5日間、朝8時から夜8時まで、ウグイス嬢も雇わず、夫婦で街宣しました。

穂積は、まほろば自然農園の倉庫を貸してあげました。車も貸してあげようとしたが、断って、5日間、自転車で回り切りました。3日目から、見かねた地元の方が、電動自転車を貸してくれました。小さい子供が2人いて夫婦で街宣出来ないの、奥さんが、テープに吹き込んで声を流したので、一緒に回っているように見えました。



★「まほろば」を、議会に上げてはならない

町の有力な方たちが、「仁木町の風力発電を考える会」の中核となっている「まほ

ろば」を議会に上げてはならないと、東奔西走し、積極的に動いていたことを、複数の方たちから聞きました。

そのように強力な「まほろば」包囲網の中、よく戦ってくれました。二人が勝ち得た150票の一人一人の票は、珠玉のように美しく重いと思います。本当に感謝申し上げます。

そこまでしても、**名もなく、高学歴もなく、居住歴も短いよそ者の2人を支持する150票は、議会も行政も決して無視することのできない純粋に風車に反対する住民の声となりました。**

★「まほろば」は、統一教会のウワサ

選挙の始まる前から、会員が署名活動をしていると、

「まほろばは、統一教会であるから署名できない」

とか言われて、署名を拒否される方々がいるので、そういう噂があるのは知っていましたが、それほど気にしていませんでした。

まさか、そんなデタラメを仁木の町民の皆さんが信じるなどとは思っていませんでした。ところが、このデタラメな噂を信じている人が意外に多いことに、私たちは驚きました。主人も何人かの人に

「まほろばさんは、統一教会なのかい」とか、

「統一教会だとばかり思っていた」とか、

選挙が終わった後、主人が余市の温泉に行くと、

「まほろばは統一教会だと仁木中の人が思っていますよ」

とか言われました。

そのうち、町民の方々が事実無根のデタラメな噂を信じてしまうのにはちゃんと理由があることがわかりました。

それは「このデタラメな噂の発信源」にありました。

★噂の発信源は有力な方

「まほろばが、統一教会である」という「事実無根の噂の発信源」は、仁木でも「有力な方」だという事が特定できました。その為、「その他の有力な方々」や、常識ある方たちも信じてしまい、まことしやかに拡がってしまったのでした。

★「事実無根の噂」の流布は「犯罪」であること

選挙では様々な噂や怪文書、罵詈雑言が流されるとは聞いていました。

しかし、今回流された「まほろばは、統一教会である」という噂は、選挙で許される言論の範囲を逸脱しており、許されるものではありません。

それで、この分野に詳しい法律の専門家に相談をしたところ、

「まほろばが統一教会であるという事実無根の噂は、「**虚偽の風説の流布**」なので、「**信用棄損罪**」および「**業務妨害罪**」に該当する」とのことでした。(刑法233条)

★法的措置を講じます

私たちは不本意ですが、今回は、あまりに悪質であるということで、今後のことを考えると、このまま放置するわけにはいきません。

従って、「虚偽の風説の流布」をした方と、それに協力した方たちに対して、まほろばは「法的措置」を講じることにしました。

まほろばの信用を守るためにも、そして、選挙という民主主義の大切な仕組みを守るためにも、選挙に際して「虚偽の風説を流布」した方には、きちんと責任をとっていただきたいと思えます。

★この文章を書いているワケ

◇悪いウワサを流されたまま放置すれば、それを認めたことになり、さらに広がってしまう為、ウワサを流した人に、きちんと責任をとっていただくために、これ以上流すのを止めていただくために

◇投票して下さった方たちが、後でまほろばの悪いウワサを聞いて、投票したことを後悔しないように、150票の票がムダにならないように

◇穂積と甲田と「風車を考える会」の人たちが、仁木の中で生きづらくなるように

◇風車反対の運動をこれからもさらに大きくするために

◇私たちの経営する札幌の自然食品店「まほろば」が、被害を受けない為に

◇どんなウワサを流されても、物言う事も出来なかった社会的に弱い立場にある人たちの為に

この文章を書いています。

★「まほろば」はこんなところ

まほろばは、仁木に自然農園のある札幌の自然食品店です。市内に2店舗あり、今年で創立39周年の歴史があります。
(<https://mahoroba-jp.studio.site/>)



信頼関係で結ばれた多くのお客様と従業員に恵まれて、これまで、政治にも宗教にも一切かわりのない経営をしてきました。

日本政策金融公庫の推薦で、「全国優良小売店」として、農水省から「会長賞」を表彰されたこともある店です。

まほろばに惹かれて集まってくる人たちは、みんな自然大好きの都会の人たちです。



「統一教会」とか、「怪しい宗教」とか、一切関係がありません。

★仁木はよそ者にしか変えられない

地元のある方が甲田夫妻に次のように言われたそうです。

「地縁・血縁・利害でがんじがらめになった仁木は、中から変えるのは難しい。他所から来たなんのしがらみもない若者にしかできない。頑張ってください、応援します。」

この選挙を通じて本当にそうかも知れないと思うようになりました。

二人がチラシに書いたマニフェスト（政策）を支持し、彼らの熱意と愚直なまでの真面目で誠実な人柄を信じ、よそ者を応援して下さる方が、仁木には150人もいたのです。

★よそ者だけでは仁木は変えられません。

志を同じくする、中の人と、よそ者が手をたずさえて、仁木にとって、住民にとって何が大切なことなのか、何が必要で何が必要でないのか、本音で語り合える民主的な仁木を作って行きたいと思います。

その為にも、地元の方たちが、「考える会」の学習会や、議会の傍聴にももっともって参加して下さり、「考える会」にも入会して頂ければ大変嬉しく思います。

よそ者であることに自信とほこりを持って、さらにしっかりと、仁木に根を下ろしながら、一步一步着実に歩を進めて参りたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します。

★議会報告が、選挙前と選挙後になったわけ

これまで、連続して出してきた議会報告が、佐藤議員のだけ選挙前に出て、他の人の記事が出なかったの、売名行為だと思われる方がいらっしまったようです。

私も、連続して出したかったのですが、選挙管理委員会の方でストップがかかったので、出せませんでした。仕方なく、選挙が終わった次の日に後の6人の報告を出しました。

私も本意ではありませんでしたが、選挙違反はしたくなかったので、佐藤議員の報告を出した後に、ふと心配になって、選挙管理委員会の方に、こちらから問い合わせたのです。

次回の学習会

『風車から発生する低周波音と電磁波の影響』

講師：環境ジャーナリスト 加藤やすこ

日時：8月26日（土）午後1時から

場所：町民センター交流ホール

